



大町西小学校だより

平成30年11月30日

第9号
大町市立大町西小学校

校長講話「プログラミングってなあに?」

おはようございます。だいぶ寒くなってきました。先週11月7日は立冬でした。冬が始まるという日です。

今日も始めにおまけのお話です。10月26日に音楽会がありました。1年生から6年生、金管バンドまでみんなが一生懸命取り組み、素晴らしい演奏や歌声を響かせてくれました。おうちの人も地域の方々も学校の先生も皆とてもうれしかったです。

また、11月10日には、「ちゃんちゃん会」がありました。皆さんのお父さん、お母さんや学校の先生が集まって、学校をもっとよくしようと作業をやる会です。今年は、桜並木の桜が元気よく育つように、敷石の位置を変えました。

今日のお話を始めます。今年から小学校で学習することが少しずつ変わり始めました。新しく始まったことがありますか?そうです。英語、外国語の学習が多くなりました。昨年までは5・6年生だけだったのですが、今年から3・4・5・6年生が外国語の学習をしています。すごいですね。ほかに新しく始まることがいくつかあります。

今日は、「プログラミング」についてお話します。これから、小学校でもプログラミングの学習が始まります。

「プログラミング」とは何でしょう。簡単に言うと、「コンピュータにやってほしい仕事を順番に書いていく」ことです。コンピュータは、いろいろなことができます。字を書いたり、商品を注文したり、アニメを作ったり、ロケットを飛ばすこともできます。でもやってほしいことをお願いしないと何もしてくれません。やってほしい仕事を順番に伝えていくと、コンピュータはたくさんの事をしてくれます。

それでは、プログラミングに挑戦です。お久しぶり「まあくん」が「てんちゃん」に会いに行きます。橋のあるところを渡っていかないと、テンちゃんには会えません。では、みんなでまあくんのお手伝いをしましょう。まず、右へ進みます。次に上へ進みます。続いて右へ進みます。あれ、橋がないですね。ここではジャンプを使いましょう。ジャンプ出てこい。これでプログラムができました。さあ、まあくんはてんちゃんのところへ行けるでしょうか。スタート。よかったです。皆さんの協力でまあくんはてんちゃんに会えました。

このようにして、コンピュータを動かすのがプログラミングです。パソコンだけでなく、スマートフォンのアプリやゲーム機のゲームもプログラムで動いています。皆さんもやり方を覚えれば自分のアイデアを生かしたアプリやゲームを作ることができるようになるかもしれません。これからは、学校でも少しずつプログラミングの学習をしていきます。楽しみにしててください。

今日は、「プログラミング」についてお話しました。

12月の主な予定

- | | |
|---------------|---------------|
| 3日(月)～14日(金) | 読書旬間 |
| 4日(火)～11日(火) | 全校5時間授業 |
| 12日(水)～18日(火) | 個別懇談会 |
| 19日(水)～26日(水) | 学期末大掃除 |
| 20日(木) | 児童会祭り |
| 21日(金) | 町内児童会
集団下校 |
| 26日(水) | 二学期終業式 |
| 27日(木)～ | |
| 1月8日(火) | 冬休み |



長期休業中の電話対応につきまして、留守番電話での対応も通常どおり行っております。緊急を要しない用件等の場合は、「学年・組・お名前・用件」を録音に残していただければ、折り返しご連絡させていただき、対応につきまして直接ご相談させていただくことも可能です。こちらもご利用ください。

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果より

本年度4月に行われました全国学力・学習状況調査（6年生対象）の結果（平均正答率について、全国・県との比較）と今後の学習指導について報告させていただきます。

<テスト結果より>

1 国語A（基礎・基本）

全国・県と比較して少し下回っている。相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて事例などを挙げながら筋道を立てて話す力は高い正答率である。漢字を適切に書く力や文の中で正しく使う力が高くない。また、相手や場面に応じて適切な敬語を使う力が弱い傾向が見られたため、言葉を正しく使う活動を日常の生活にも意識的に取り入れていく。

2 国語B（活用力）

全国・県と比較して下回っている。話す・聞くこと的能力については、力がついている。特に話し合いの場面で、参加者として質問の意図をとらえたり、司会の役割についてとらえたりする問題は高い正答率である。文章を読み、具体的な叙述をもとに、理由を明確にして自分の考えをまとめて書く力が弱い。読み取った内容の感想を書くだけでなく、自分の考えをもち、記述する学習を充実させていく。

3 算数A（基礎・基本）

全国・県と比較して少し下回っている。分度器の使い方及び立方体の面と面の位置関係を理解する力がついている。小数の除法の意味に関する問題の正答率が低く、何倍、いくつ分のとらえを小数で立式する問題に課題が見られる。小数の大きさを数直線等を使って視覚でとらえたり、何倍・いくつ分を線分図を使って説明したりする等、数値や関係を目で見て実感し、数量関係をとらえていく場面を多くとり、定着をはかっていく。

4 算数B（活用力）

全国・県と比較してほぼ同じである。図形の構成要素や性質を基に条件に合う図形を見いだしたり、角の和が360度になる理由を記述できたりする力がついてきている。日常生活の事象を、表やグラフの特徴を基に考察したり、表現したりする力や、問題場面における数量を解釈し、関連づけて論理的に考察し、判断の理由を根拠を明確にして説明・記述する力にも課題が見られる。見いだした数量関係を言語で表現し合う学習を充実させていく。

5 理科

全国・県と比較して少し上回っている。自然事象についての知識・理解が大きく上回っており、既習事項が身についている様子が見られる。また、観察・実験の技能も上回っており、授業の中で体験を多く取り入れ学習を進めている成果が十分表れた結果となった。やや課題のあった科学的な思考・表現について、小グループで話し合う活動を多く取り入れ、観察や実験結果について言語で表現し合う学習を充実させていく。

<学習や生活への意識調査より>

○将来の夢や目標をもっていて、難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦しようとする子どもが多い。また、算数や国語の学習について好意的にとらえている子どもが多い。

○きまりを守ることは大切・いじめは絶対にいけない・人の役に立つ人間になりたい、の項目が全国・県と比べ圧倒的に高く、規範意識の高い子どもたちが育っている。

<6年生の結果を参考にして、今後、学校全体で取り組むこと>

① 一昨年より方針を出した授業の継続

国語、算数ともに、他者の考えをもとに自分の考えを検証、構築していく学習が必要である。「話し合い活動」を通して、自分の考えをもち、他者に伝える学習を深めていきたい。

② 「めあて」及び「振り返り」を意識した学習について

日常生活や場面から学習問題を設定し、学習のめあてや目的、目標を明確にした上で追究に入る。また、終末には学習問題や学習課題に即して振り返る場面を設け、その時間で何を学んだか子どもたちが実感できる授業を構築する。加えて、1時間の流れがわかる板書に心がける。

③ 基礎的・基本的な事項の定着

学年に応じ、コース別学習を取り入れたり、個別に学習する時間を設けたりする等を行い、基礎的・基本的な学習内容について定着を図る。

④ 根拠や理由を追究する授業展開

国語では叙述をもとにし、算数では図や言葉を用いて自分の考えを説明するなどして、単に意見の発表をするにとどまることなく、考えや考え方、追究方法などを比較したり関連づけていたりして、追究が深まるようにする。そのため、小集団での話し合いの場면을授業の中に多く取り入れ、言語活動の充実を図っていく。

⑤ 授業力向上に向けて

主体的・対話的な学びが深まっていくような授業形態のあり方を研究していく為、本年度は一人一公開授業を提案し、既にいくつかの学級が公開をしている。日々の授業実践を見合う中で、職員が主体的に学び合う場を設けていく。

紙面の都合上、12月の予定は全校に関わる主な内容の掲載のみとさせていただきました。学年便り等での確認をお願いいたします。